

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	すばるホール	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	公益財団法人 富田林市文化振興事業団		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 5 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	a	a
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	a	a
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	a
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	b	b
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	b	b
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

	自己	担当課	
その他	24 市民参加型事業開催回数が要求水準に達している。	b	b

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	施設利用料金収入については、庁舎仮移転などにより減少はやむを得ない事情もありますが、現状ある制約の中で、直接利用者の声や意見、提案を聞くなど、少しでも収入を増やせるようなツボい工夫に努めてください。また、創意工夫を求めた事業について、事業検証を行ってください。	利用率向上として、昨年度研修室(清光ノ間)について、利用者からの意見を基に、机、椅子を入れ替えるなど、利用しやすいレイアウトに変更し、利用率向上に努めている。また、新型コロナウイルスの影響から利用を中止、延期された利用者へ、相談に農など、再度利用いただけるよう努めていることは評価できる。さらなる、利用率の向上に期待したい。
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	コロナ禍における団体の活動休止や解散の影響に加え、庁舎移転(定期的利用が他館へ移転)もあり、貸館利用への影響は大きく、利用料の回復には至っていない。現在、レストランは閉店(庁舎利用)、施設利用者からはレストラン再開を望む声寄せられているため、イベント時にはキッチンカーなどの出店も行うなどの手法にも取り組んでいる。庁舎機能と一般利用の調整は公演事業、貸館事業ともに大きな負担であったが、調整の甲斐あって大きなトラブルには発展していない。今後は、策定にかかわった富田林市文化芸術振興ビジョンの実現に向け新たな活動にも取り組んでいきたい。
施設所管課	新型コロナウイルスによる影響はやや落ち着いてきたが、庁舎一部移転による貸館利用への影響はまだ続いている状況である。また、庁舎が移転してきたことによって、指定管理運営の調整がこれまで以上に必要となったが、大きなトラブルもなく評価できる。そのような状況であるが、アウトリーチ事業や文化事業の展開など、独自活動を頑張っていることも評価できる。

【参考】

1. 実績値(直近3ヶ年) 【千円】

	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	208,641	199,342	209,350	209,350	209,063	209,063
利用料金	51,756	49,926	51,000	44,114	46,500	47,233

2. 要求事項

ホール・展示室・レセプションホール 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率48.0%)】		
要求水準	50.4	%
目標	50.0	%
実績	59.3	%

➡③評価項目7と関連

市民参加型事業開催回数 【5種類 20回以上】		
要求水準	5種類	20 回
目標	10種類	65 回
実績	13種類	74 回

➡③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市市民会館	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	株式会社 アクティオ		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 5 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	a	a
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	c	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	a
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	c	c
	15 本経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	b	b
	16 年度収支計画と比較して本経費が妥当である。	b	b
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア		
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	<p>利用に関しては、利用者から平常営業しているのかという問い合わせが多く、公共施設が通常通り利用できること周知する事が多いように思える年でした。また、パーティーの類は警戒気味で利用時間の短縮や利用人数の調整をしている利用者も多くあり利用は伸び悩んだと考えています。しかしながら、周辺の開拓が進む事もあり面接や研修会場としての利用は増加、また、個人が単発で貸室を利用するというコロナ禍での影響もあり小規模短時間利用は新規が増加傾向にありました。</p> <p>・収支に関しては昨年度、水道光熱費が高騰し、利用15~30分からの点灯及び空調運転を利用者に協力いただく事で実質の利用時間の運転が行われ削減を試みています。しかしながら、取組み事態は苦しみと言え、利用室表示の点灯が出来ないなど問題点もあります。点灯していない部屋への入室は利用者からすると不安だと考えます。リピート率が高い施設だから可能だったと考えています。これにより多少削減につながったと考えていますが、ロビーなど故障状態の空調運転が行われた場合の平均値は長らく取れていないため、施設としての平常運転時の光熱費は計りしれないところと見えます。</p> <p>・旧館は築49年、新館は築35年と老朽化が進行しております。緊急性はないものの劣化により不衛生に見える部分や軽微な破損に手を加えることで老朽化感を色濃く残さない運営に努力しておりますが、軽微なものほど優先順位は難しいところです。</p>
施設所管課	<p>コロナ禍以降、緩やかに利用者が増えては来ているが、コロナ禍以前のような回復傾向ではない。そんな中、光熱水費、人件費の高騰による、支出面での工夫は見られる。また、施設の老朽化による修繕等についても、一定努力の跡が見られる。このように、利用者サービスの質を極力落とさないような努力が垣間見え、適正な管理運営が行われているものと認められます。</p>

【参考】

1. 実績値(直近3ヶ年)

	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	58,115	58,115	58,445	58,445	58,830	58,830
利用料金	16,350	11,372	15,238	15,442	16,000	15,416

2. 要求事項

市民センター 稼働率 【対前年比1%増(参考:平成27~29年度 平均稼働率67.50%)】	
要求水準	70.9 %
目標	66 %
実績	65.4 %

➡③評価項目7と関連

市民コミュニティの醸成	
目標	市民団体・地域団体等との連携事業の展開

➡③評価項目3と関連

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市立市民総合体育館他21施設および富田林市立総合スポーツ公園	施設所管課	生涯学習課
指定管理者名	ミズノグループ		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 5 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	c	c
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	b
	9 苦情への対応が適切である。	c	c
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	a
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	b
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

改善要求点	対応及び評価
ア	新型コロナウイルス感染症対策や大規模改修工事に伴う利用制限があったために、全体的に利用実績が要求水準に達しなかったという事情はあるものの、総合スポーツ公園の多目的グラウンド等、例年、稼働率が低水準で推移している施設については、他市の類似施設との比較分析を行い、有効活用方法を検討提案して頂きたい。
イ	光熱水費や燃料をはじめとした物価の高騰により、収支計画の予算額と乖離せざるを得なかった点は考慮するものの、次年度以降、収支計画を策定するにあたっては、可能な限り正確で綿密な見通しを立てるとともに、いっそうの経費削減に努め、適正な支出をするよう努めて頂きたい。
ウ	

⑤評価者コメント

指定管理者	ミズノホスピタリティ宣言『安全・安心・信頼をお届けする』行動指針『全力で』を念頭にお客様に満足いただける施設の管理運営に取り組んでまいりました。中でも今年度はお客様からのお褒めのお言葉も数多く頂戴できたことは利用者満足向上に取り組めたと実感しております。反面、苦情や要望も当然ある中で、真摯に取り組み迅速かつ適切に対応できたと思っております。来年度からは3期目の指定管理者者に選定いただけたことから、より一層お客様の満足度を向上させる施策を数多く発信し、安心・安全にご利用いただける施設運営に取り組んでまいります。
施設所管課	全体的に、仕様書や提案書、年度計画等を充足されており、利用者の立場に立った管理運営がされていると評価しています。しかしながら、利用実績につきましては、一部施設を除き要求水準に達していません。屋外施設において、利用者の減少が多く見受けられますので、昨今の猛暑による影響も一因となっていると考えられますが、令和6年度においては、利用者数・稼働率の増加につながる運営がなされることを期待しております。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	【千円】					
	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	97900	97900	97900	97900	97,900	97,900
利用料金	31730	27057	32863	29276	33000	30442

2. 要求事項

市民総合体育館 稼働率		
要求水準	64.29	%
目標	66.89	%
実績	74.33	%

→③評価項目7と相關

青少年スポーツホール 稼働率		
要求水準	67.90	%
目 標	69.26	%
実 績	0.00	%

→③評価項目7と関連

津々山台第2テニスコート 稼働率		
要求水準	35.45	%
目 標	35.80	%
実 績	24.34	%

→③評価項目7と関連

中野テニスコート 稼働率		
要求水準	19.58	%
目 標	19.77	%
実 績	13.77	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 多目的グラウンド(全面) 稼働率		
要求水準	42.46	%
目 標	42.88	%
実 績	20.60	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 野球場 稼働率		
要求水準	69.65	%
目 標	70.35	%
実 績	78.50	%

→③評価項目7と関連

総合スポーツ公園 テニスコート 稼働率		
要求水準	59.09	%
目 標	60.27	%
実 績	61.40	%

→③評価項目7と関連

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市農業公園	施設所管課	農業創造課
指定管理者名	農事組合法人 富田林市南地区協同組合		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 5 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	a	a
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	a	a
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	d
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	b	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	c	c
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	d	d
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b

		自己	担当課
その他	24 別途料金が不要なイベント等の開催状況が要求水準に達している。	b	b
	25 にこここ市場の利用者数(レジ件数)が要求水準に達している。	d	d

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	にこここ市場とのさらなる連携強化や新たな取り組み等、積極的に入園者数の増加に繋がる対策を実施してください。(令和元年度指定管理業務における改善要求事項の継続)	園内への入園者様のお荷物一時預かりや園内の収穫物・お花情報・園内イベント等のお客様へのご案内を実施している。
イ	要求項目としてあげている、にこここ市場のレジ件数について、地元産品強化に注力しつつ、要求水準達成が出来るよう対策を実施してください。	毎月、25日をにこここの日として、園内産物や近隣農家様ご協力によるサービス品の提供の強化している。
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	富田林市農業公園運営の最終年度となる為、積極的な投資が難しく、大幅な集客へつなげる事が出来なかったが、指定管理の要求水準達成に向け3月31日まで営業を行い、4月以降についてのアナウンス等誠心誠意努めました。
施設所管課	新型コロナウイルス感染症の5類移行という環境変化の中、有料入園者数は39,255人と昨年より微増となりました。厳しい事業環境が継続しましたが、引き続き公園の魅力向上の取り組み、SNSを活用した広告宣伝の実施などのほか、経費削減にも取り組みました。第4期指定管理期間で新たに位置づけられた2項目の要求水準については、無料イベント開催等の回数増を図り、にこここ市場の地元産品強化の取り組みでレジ件数は若干低下していますが、施設の設置目的を踏まえた指定管理者の努力が認められました。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	【千円】					
	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	88649	88387	85766	85766	85,766	85,766
利用料金	41100	16940	41200	18431	41,700	17,317

2. 要求事項

年間交流人口数(有料入園者数+無料入園者数+にこここ市場レジ件数)		
要求水準	80,500人+10,000人+70,271件	160, 771人
目標	80,500人+10,000人+70,271件	160, 771人
実績	39,255人+4,872人+53,544件	97, 671人

➡③評価項目7と関連

入園料以外の別途料金が不要な「イベント」及び「農にふれる体験」
を毎月2回以上開催

要求水準	2回×12ヶ月	24回
目 標	2回×12ヶ月	63回
実 績	4月②、5月①、6月⑥、7月②、8月⑩、9月④、10月⑧、11月③、12月⑤、1月①、2月②、3月①	55回

➡③評価項目24と関連

にこにこ市場の利用者数(レジ件数)
【対前年比1%増(参考:平成28~29年度 平均比 66585件)】

要求水準	70,271	件
目 標	70,271	件
実 績	53,544	件

➡③評価項目25と関連

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市立総合福祉会館	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 5 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	b	b
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	a	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	d	c
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	b
	9 苦情への対応が適切である。	b	b
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	b	b
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a	
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	b	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	b	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
23 外部委託した業務の点検等が行われている。	b	b	

	自己	担当課	
その他	24 教室・講座の年間参加人数が要求水準に達している	a	b

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	改善要求事項なし	4年目評価における運営改善を要求した項目はありません
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	令和5年度は、貸館利用者数及び利用率、浴場利用者数は計画値より実績値が下回っているものの、いずれも昨年度より増加しており、コロナ禍から比べ回復傾向にあります。また、教室・講座に関しては、定評のある健康体操や英会話講座等を継続して実施するほか、新規講座としてひとり親家庭向けのアロマクラフト講座を行う等、利用者層の拡大を目指して取り組んだ結果、参加人数計画値より実績値が上回りました。新規取り組みとして「昼活!!ラジオ体操」を行い、利用者の健康増進に努めました。また、敬老の日イベント、囲碁・将棋・撞球大会、文化祭等活動の成果を発揮できる取り組みを継続して行うことで、利用者満足度向上及び新規利用者獲得に努めました。
施設所管課	令和5年度の施設利用状況について、貸館利用者数は前年度から約1900人増加しており、数字だけでは見えにくいですが、コロナを理由とした急減からは順調に回復していると考えます。教室・講座の年間参加人数については、要求水準の値を上回り、健康体操など利用者ニーズをとらえており評価したい。総合福祉会館はひとり親家庭も利用できる施設であることから、アロマクラフト講座を令和5年度は新たに行っており、参加者からも好評であったとのことである。また、新規取り組みの「昼活ラジオ体操」は、館の利用者の活気づくりにも一役かっており、良い取り組みである。敬老の日のイベントとして4年ぶりにカラオケ大会を開催することができたことは、アフターコロナを象徴する、喜ばしいことである。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	50,448	50,448	51,039	51,039	51,211	51,211
利用料金	1,048	746	1,052	918	1,056	929

2. 要求事項

貸館 年間利用者数	
要求水準	45,000 人
目標	36,400 人
実績	32,534 人

→③評価項目7と関連

浴場 年間利用者数

要求水準	13,000	人
目 標	10,560	人
実 績	9,319	人

➡③評価項目7と関連

教室・講座の年間参加人数

要求水準	2,500	人
目 標	2,080	人
実 績	3,184	人

➡③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市立コミュニティセンター	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 富田林市社会福祉協議会		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 5 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a~dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

	自己	担当課	
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	a	a
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	b	b
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	a
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
自主事業	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
収支計画	13 自主事業の実施状況が適切である。	a	b
	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	a	a
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	a
人員配置計画	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	a	a
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	a	a
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	b
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	b	b
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	b

	自己	担当課	
その他	24 世代間交流に資する事業としての年間イベント数が要求水準に達している	b	b

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	改善要求事項なし	4年目評価における運営改善を要求した項目はありません
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	昨年度の利用者アンケート結果からも、飲食のあるイベント交流が望まれており、今年度の利用促進・満足度向上策としては、厨房を活かしたイベントの開催を心がけました。特に子どもたちが参加できる春夏秋冬のイベント(デイキャンプ・納涼、盆踊り・ハロウィン・クリスマス)など気軽に集え交流できる場として、子どもたちや子育て世代、高齢者の生きがいづくり・活躍の場に取り組みました。また、防災、救命講座にも着目し市民の危機意識の向上にも努めました。今後もニーズ把握に努め更なるコミュニティの発展をめざして参ります。
施設所管課	令和5年度はコロナを理由とする制限もなくなり、貸館年間利用者数は前年度と比べて約7,000人増加しており、回復が顕著である。また浴場年間利用者数については、要求水準(18,000人)を上回った。これらは指定管理者の努力の結果として評価したい。自主事業については、ヨガや運動による介護予防を主な目的とする内容や、「純喫茶おれんじ」など地域包括支援センターとの連携もあり、指定管理者の特性を活かしていると考ええる。イベントの実施では、きつずデイキャンプを始めとしたことも参加系の季節のイベントや、スマホ×喫茶など高齢者向けのものまで、幅広く行った。中でも、かがりの郷まつりは制約もなくなり、約550人もの参加があり、盛況に開催することができた。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)	【千円】					
	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	41,928	41,928	41,985	41,985	42,303	42,303
利用料金	4,820	3,567	3,914	4,787	4,256	4,636

2. 要求事項

貸館 年間利用者数		
要求水準	45,000	人以上
目標	36,800	人以上
実績	42,257	人以上

⇒③評価項目7と関連

浴場 年間利用者数

要求水準	18,000	人以上
目 標	15,640	人以上
実 績	18,122	人以上

➡③評価項目7と関連

世代間交流に資する事業としての年間イベント数

要求水準	10	回以上
目 標	13	回以上
実 績	14	回以上

➡③評価項目24と関連

●指定管理者業務評価シート(5年目評価)

施設名	富田林市ケアセンター	施設所管課	増進型地域福祉課
指定管理者名	ケアセンター管理運営共同事業体		
指定期間(年度)	令和元年度 ~ 令和5年度	評価対象年度	令和 5 年度

①評価の実施方法

・以下の評価項目ごとに、指定管理者より提出される実績報告等を基に担当課が評価を行う。

②評価基準

・a～dの4段階(aが最良)の評価を行い、仕様書や提案(業務計画)の内容を満たす問題のない内容を「b」(基準点)とする。

③評価項目

		自己	担当課
基本方針等	1 管理運営の基本方針に沿った運営がなされている。	a	a
	2 地域の人材、企業の活用等、地域活性化に寄与している。	b	b
	3 地域との交流が図られている。	a	b
行動規範	4 コンプライアンスの体制が十分である。	b	b
	5 施設利用における利用者の平等な利用が確保されている。	a	a
	6 個人情報保護について、十分な対策が取られている。	b	b
利用促進・利用者満足度の向上	7 利用実績(利用者数・利用率等)が要求水準に達している。	c	b
	8 利用促進策・利用者満足度向上策が、実施計画通り実行されている。	a	b
	9 苦情への対応が適切である。	a	a
	10 利用者意見の把握が、積極的に行われている。	a	a
	11 収集した利用者意見を事業に生かすしくみとなっている	a	a
自主事業	12 自主事業の規模が適正である。	a	a
	13 自主事業の実施状況が適切である。	c	c
収支計画	14 利用料金収入が、年度収支計画の予算額を達成している。	d	d
	15 本社経費を除く支出が、年度収支計画の予算額に比して妥当である。	a	d
	16 年度収支計画と比較して本社経費が妥当である。	a	a
人員配置計画	17 人員配置(人数、有資格者)について、提案時に示された水準が守られている。	b	b
人材育成の考え方及び研修計画	18 人材育成方針及び研修計画に沿った研修が実施されている。	b	b
危機管理策	19 非常時の対応について必要な対策が講じられている。	a	a
日常の安全管理	20 日常点検などにより施設の安全確保の対策が講じられている。	a	a
	21 修繕が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	22 備品の管理が適切に行われている。(指定管理者責任範囲)	a	a
	23 外部委託した業務の点検等が行われている。	a	a

④改善要求点(4年目評価における運営改善を要求した項目に対する評価)

	改善要求点	対応及び評価
ア	改善要求事項なし	4年目評価における運営改善を要求した項目はありません
イ		
ウ		

⑤評価者コメント

指定管理者	令和5年度は、どの事業においても目標値こそ達成できなかったものの、ほぼ9割以上の達成率であり、老健事業におけるコロナ感染による制限、ウエルネス・講座事業における熱源設備工事の期間による休館が与えた影響はありました。人材不足で補充が進まない状況でも、老健事業は利用者数を安定させて在宅復帰強化型施設を維持しており、次の段階である超強化型への移行も狙える状態になっています。ウエルネス事業も、意識変化の中継続的利用者の入れ替わりが起きている状況ですが、各事業とも来年度に繋がる一年だったと感じています。これからも各事業が互いに協力しながらケアセンター設立の理念に沿った質の高いサービスの提供に努めます。
施設所管課	令和5年度は利用実績としてウエルネス施設と講座・教室参加者数は、いずれも年間目標値を下回った。これは熱源設備工事による休館が、工事期間中のみならずその後の施設利用傾向にも影響していることがうかがえる。このため目標値は実質は達成しているものと評価したい。老健施設については、利用者数は増加傾向にあったが、コロナ感染による制限をした期間があり、その影響を受けた。また、介護・看護関係の人材の確保が困難になってきていることが、人件費の支出傾向などから見えてくる。営業により新規受け入れに努めており、介護老人保健施設として、令和5年度も在宅復帰強化型施設としての水準を維持されていることは、担当課として評価したい。

[参考]

1. 実績値(直近3ヶ年)

	【千円】					
	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算
指定管理料	126,980	126,980	131,894	131,894	120,007	120,007
利用料金	493,421	447,698	494,344	451,500	487,435	430,382

2. 要求事項

入所事業 年間利用延人数		
要求水準	25,000	人
目標	24,851	人
実績	23,444	人

→③評価項目7と関連

通所事業 年間利用延人数		
要求水準	10,000	人
目 標	9,920	人
実 績	7,089	人

➡③評価項目7と関連

ウェルネス施設年間利用者		
要求水準	75,000	人
目 標	57,000	人
実 績	51,693	人

➡③評価項目7と関連

講座・教室の年間参加人数		
要求水準	21,000	人
目 標	18,500	人
実 績	17,873	人

➡③評価項目7と関連